
日本博 2020 年度
主なラインナップ ご案内

令和 2 年 9 月 2 日現在

文化庁参事官（芸術文化担当）付新文化芸術創造活動推進室

日本芸術文化振興会 日本博事務局

◆ 特別公演『日本の音と声と舞』(オープニング・セレモニーの収録映像の放映・活用)

＜東京国立博物館＞令和2年6月20日 BS日テレ、令和2年7月19日 NHK総合

[我が国の名品を公開、自然素材を生かした修理の技を知る]

◆ 京都市京セラ美術館開館記念展『京都の美術 250年の夢』

＜京都市京セラ美術館＞令和2年6月2日～9月6日、令和2年10月10日～12月6日…1

◆ 特別展「工芸 2020—自然と美のかたち—」

＜東京国立博物館＞令和2年9月21日～11月15日…2

＜工芸と食／石川、静岡＞ 令和2年10月31日、12月4日…2

◆ 国立工芸館石川移転記念展Ⅰ「工の芸術—素材・わざ・風土」

＜東京国立近代美術館工芸館(石川県)＞ 令和2年10月25日～令和3年1月11日…3

◆ GO FOR KOGEI —北陸で出会う、工芸の可能性—

＜石川県:金沢市・小松市・能美市、富山県:富山市・高岡市、福井県:越前市・鯖江市 他＞ 令和2年7月～令和3年2月…3

◆ 我が国の美術工芸品等修理の技と自然の原材料を活かした伝承・活用事業

—国宝重要文化財(美術工芸品)保存修理成果の現地公開—

＜京都国立博物館ほか＞ 令和2年10月…4

◆ 企画展「読み継がれた源氏物語」

＜名古屋蓬左文庫(愛知県)＞令和2年11月8日～12月13日…5

◆ 特別展「東山魁夷と四季の日本画」

＜山種美術館(東京都)＞令和2年11月21日～令和3年1月24日…5

◆ 特別展「桃山—天下人の100年」

＜東京国立博物館＞令和2年10月6日～11月29日…6

[日本の「衣食住」を通観し、自然と対話する]

◆ 特別展「きもの KIMONO」

＜東京国立博物館＞令和2年6月30日～8月23日…7

◆ 人間国宝森口邦彦友禅／デザイン交差する自由へのまなざし＜京都国立近代美術館＞令和2年10月13日～12月6日…7

◆ 特別展「ファッション イン ジャパン1945—2020—流行と社会」＜島根県立石見美術館ほか＞会期調整中…8

◆ 隈研吾展 ＜高知県立美術館、長崎県美術館、東京国立近代美術館＞令和2年11月…8

◆ 「日本のたてもの—自然素材を活かす伝統の技と知恵—」

＜東京国立博物館・国立科学博物館・国立近現代建築資料館(東京都)＞令和2年12月8日～令和3年2月21日(予定)…9

[自然にちなんだ伝統芸能、自然との関わりを描いた現代舞台を観る]

◆ 歌舞伎、文楽、能楽・狂言、Discover シリーズ 能楽、文楽、組踊

＜国立劇場、国立能楽堂、国立文楽劇場、国立劇場おきなわ＞令和2年8月～令和3年3月…10・11

◆ 「日本博」皇居外苑特別公演(仮称)

＜皇居外苑特設会場(東京都)＞令和3年3月中旬(予定)3日間…12

◆ 神々の集う国「出雲」体験フェスタ ～日本博 in 出雲～

＜出雲大社ほか(島根県)＞ 令和2年9月19日～22日(予定)、11月～令和3年3月頃…12

◆ 特別展「体感！日本の伝統芸能 —歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—」

＜東京国立博物館＞中止・延期…13

◆ 子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ「Super Angels スーパーエンジェル」

＜新国立劇場(東京都)＞中止・延期…14

◆ 日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト

＜神奈川県伊勢原市 大山阿夫利神社ほか＞令和2年9月…15

◆ 寄席「笑楽座」2020

＜仙台東照宮(宮城県)ほか＞令和2年9月～令和3年3月…16

[自然の中で文化を味わう]

◆ 企画展「国立公園 —その自然には物語がある—」

＜国立科学博物館(東京都)＞令和2年8月25日～11月29日…17

◆ 「神宮の杜芸術祝祭」 祭る。祈る。創る。—持続可能な自然と芸術文化—

＜明治神宮(東京都)＞令和2年3月～令和3年3月…18

◆ 日本書紀・藤原不比等を巡る奈良県博覧プロジェクト

＜奈良コンベンションセンター ほか＞令和2年5月～令和3年3月…19

◆ 国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ 2020“森羅万象～COSMIC DANCE”

＜滋賀県:近江八幡市・彦根市 ほか＞令和2年10月10日～11月23日…19

◆ 「大地の芸術祭の里」ブランディング強化による海外インバウンド拡充事業

＜新潟県十日町市＞令和2年4月～令和3年3月…20

◆ アース・セレブレーションを核とした佐渡の国際的フェスティバル展開事業

＜新潟県佐渡市＞令和2年4月～令和3年3月…20

[メディア芸術に描かれる自然に向き合う]

◆ MANGA 都市 TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮 2020

＜国立新美術館・企画展示室 2E(東京都)＞令和 2 年 8 月 12 日～11 月 3 日…21

＜大分県立美術館・1 階 展示室 A＞令和 2 年 11 月 21 日～令和 3 年 1 月 17 日…21

◆ ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2020

＜長野県阿智村、東京都内＞8 月 9 日、令和 2 年 9 月下旬…21

◆ ピクチャレスク・ジャパン 世界が見た明治・大正の日本(仮称)

＜国立映画アーカイブ(東京都) ほか＞令和 2 年 10 月…22

◆ NAKED SAMURAI & NINJA 観光ガイドプロジェクト(仮称)

＜リアル: 元離宮二条城(京都府)、オンライン＞令和 2 年 10 月 15 日～12 月 17 日(仮)…22

[共生社会・多文化共生と自然]

◆ ウテカンパ フェスティバル ～未来に向かって、手をつなごう～

＜北海道 札幌周辺＞ 令和 2 年 11 月頃…23

◆ 東京 2020 大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル

＜滋賀県近江八幡市 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA ほか＞令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日…23

◆ 障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト

＜大阪府 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)ほか＞令和 3 年 1 月 30 日、31 日…24

日本博特別公演『日本の音と声と舞』

(オープニング・セレモニーの収録映像の放映・活用)



- 2020年3月14日に東京国立博物館平成館で収録した日本博特別公演「日本の音と声と舞」を2020年6月20日にBS日テレ、7月19日に NHK 総合で放送。
- 第一部では、日本博広報大使の黒柳徹子さんからのメッセージに始まり、アイヌ古式舞踊、2.5 次元ミュージカルのミュージカル『刀剣乱舞』を披露した後、第二部では「月雪花にあそぶ」と題し歌舞伎、能、文楽、雅楽、日本舞踊、合唱など多くの舞台芸術をプロジェクションマッピングとともにご覧いただける内容です。
- BS日テレでの放送後、民放テレビ局連携公式ポータルサイト「TVer」で1 か月間配信。NHK 総合での放送後、NHK 番組配信サービス「NHK プラス」で配信。
- 各芸能の映像を海外向けに発信する短いコンテンツを編集・配信(日・英・中・韓・仏)し、今後の誘客に活用します。

主 催 文化庁
独立行政法人日本芸術文化振興会
特別協力 東京国立博物館

構成・演出 大和田文雄(独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)理事)
空間演出 谷川じゅんじ(JTQ inc.)
映像演出 WOW
樹木演出 小松宏誠
音楽監修・作曲 新内多賀太夫
振付(石橋) 尾上菊之丞
技術監督 横沢紅太郎
美術・照明・音響・舞台・舞台監督 国立劇場
制 作 独立行政法人日本芸術文化振興会／国立劇場・国立能楽堂・国立劇場おきなわ・新国立劇場・日本博事務局

日本博 主なラインナップ

＜我が国の名品を公開、自然素材を活かした修理の技を知る＞

京都市京セラ美術館のリニューアルオープンを記念に、京都にゆかりのある平安時代から現代までの優品を京都市、文化庁、日本芸術文化振興会の連携で展覧します。

・「杉本博司 瑠璃の浄土」＜京都市京セラ美術館・新館 東山キューブ＞ 令和2年5月26日(火)～10月4日(日)

・「京都の美術 250 年の夢」＜京都市京セラ美術館・本館北回廊1階＞ 令和2年6月2日(火)～12月6日(日)

<https://kyotocity-kyocera.museum/>

京都市京セラ美術館開館記念展『京都の美術 250 年の夢』

明治維新から 100 年を遡った江戸後期の「京都の美術」を綺羅星のごとく輝く伊藤若冲、与謝蕪村、池大雅、曾我蕭白、円山応挙、松村呉春、長澤芦雪にはじまり、明治から昭和にかけて、東京画壇に対抗する京都画壇を隆盛させた竹内栖鳳、上村松園、土田麦僊、村上華岳など、そして戦後から現代にかけては伝統を受け継ぎ革新的な日本画を描いた小野竹喬、福田平八郎、堂本印象、池田遥邨などに至るまで、日本画の代表作家を中心に、同時代に活躍した工芸家たち、明治期に登場した洋画家や彫刻家たち、さらには戦後における現代美術の若き作家たちを加えて、「京都の美術」の 250 年の歴史を彩った総計 400 点を越える名作を3部構成で展示します。

会期:「最初的一步:コレクションの原点」:令和2年6月2日(火)～9月6日(日)

「京都の美術 250 年の夢 第1部～第3部 総集編 -江戸から現代へ-」:令和2年10月10日(土)～12月6日(日)

※総集編のみ北回廊1階、2階



重要文化財 曾我蕭白《群仙図屏風》1764年 文化庁蔵

◎11月10日～11月15日(6日間)展示



京都市京セラ美術館 (撮影: 来田猛)



太田聴雨《種痘》1934年

特別展「工藝2020—自然と美のかたち—」及び「工芸と食」プログラム

＜東京国立博物館 表慶館＞ 令和2年9月21日(月・祝)～令和2年11月15日(日)

＜工芸と食／石川、静岡＞ 令和2年10月31日(土)、12月4日(金)

<https://www.tnm.jp/>

日本の工芸は、自然の様々な素材と技法、そして作家の感性によって創り出されたもので、自然との密接な関わりを特質としています。日本人の精神と「心」を反映する特有の自然観に満たされ、そこにある美を生活の道具やそれを原点に表現されるものに創造して発展してきました。

本展では自然の素材と適したわざを有効に活用して、自然観や自然の美を主題とし独自の創作表現としている現代作家の名品を、国内外で活躍する伊東豊雄氏による自然をテーマにした空間演出で展示することで、工芸のもつ新たな魅力と可能性を紹介します。

工芸と食を融合させた体験型プログラム「Kogei Dining」では、食事会を通して工芸のもつ“用の美”を体感いただく場を提供します。



室瀬和美《柏葉蒔絵螺鈿六角合子》



春山文典《宙の響》



奥田小由女《海から天空へ》



今泉今右衛門

《色絵雪花薄墨墨はじき雪松文蓋付瓶》



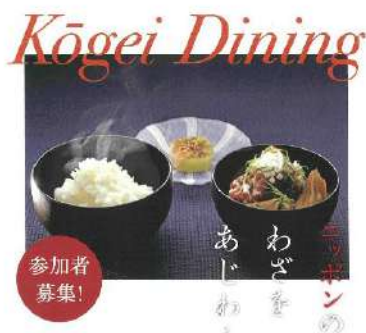
伊東豊雄氏による自然をテーマにした空間演出

※会場イメージ



映像コンテンツ

※実施イメージ



2020年12月4日(金)

静岡県熱海市 MOA 美術館
開場 16:00 ～ 閉会 19:30

【予約】2020年11月25日(水)～12月3日(金)
【当日】2020年12月4日(金) 16:00～19:30
Kogei Dining 事務局 TEL: 0543-72-1100 E: kogeidining@moa-museum.jp

【主催】MOA、熱海市熱海文化振興会



「Kogei Dining」体験型プログラム

昨年度の会場の様子



前田昭博氏の器と日本料理

Kogei Dining

「Kogei Dining」は「工芸2020—自然と美のかたち」の関連企画として開催される体験型プログラムです。鑑賞するだけでは知ることができない工芸の持つ“用の美”の美しさを、食事会を通じて参加者自身の手で確認していただける貴重な機会となります。

<https://www.kogei-dining.com/>

国立工芸館石川移転記念展Ⅰ「工の芸術－素材・わざ・風土」

＜国立工芸館(石川県金沢市)＞ 令和2年10月25日(日)～令和3年1月11日(月・祝)

<https://www.momat.go.jp/cg/>

東京国立近代美術館工芸館の石川移転の柿落しとなる本展は、明治から現代までの日本の近代工芸の名作を一堂に紹介するものです。「素材」「わざ」「風土」をキーワードに、日本の近代化のなかで各地方の工芸家たちがどのように「素材－自然」と向き合ってきたか、また時代と共に「自然のイメージ」をどのように捉え直してきたかを探り、常に更新されていく日本の多様な「風土」を紹介します。高精細画像による細部の鑑賞など、新たな工芸の鑑賞体験を提供します。詳しくは、HPでご確認ください。



松田権六《蒔絵螺鈿有職文篋》1960年 東京国立近代美術館蔵



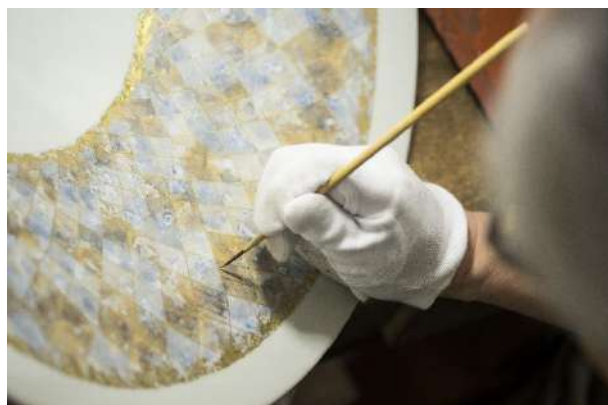
板谷波山《氷華彩磁唐華文花瓶》1929年 東京国立近代美術館蔵

GO FOR KOGEI -北陸で出会う、工芸の可能性-

＜石川県:金沢市・小松市・能美市、富山県:富山市・高岡市、福井県:越前市・鯖江市 他＞ 令和2年7月～令和3年2月

<https://goforkogei.com/>

“ものづくり”の一大拠点「北陸」の100か所の工房の映像コンテンツ制作・発信を通じて、地場に根ざした職人技術から現代化したアートやデザインまで、その枠組みを拡大してきた工芸の魅力を高解像度映像で紹介する映像コンテンツ制作・発信し、広く、深く、今日の工芸を伝えるだけでなく、工芸をきっかけに北陸を訪れる国内外の人々の旅の良き案内役として事業を実施します。



錦山窯 吉田幸央 (九谷焼)



滝製紙所(和紙)

我が国の美術工芸品等修理の技と自然の原材料を活かした伝承と活用 — 国宝重要文化財（美術工芸品） 保存修理成果の現地公開 —

＜京都国立博物館＞令和2年12月19日(土)～令和3年1月31日(日)(予定)、＜宮城県角田市 高蔵寺＞未定、
＜大阪府 中之島香雪美術館＞令和2年10月31日(土)～12月13日(日)、
＜熊本博物館＞令和2年12月5日(土)～令和3年1月24日(日)(予定)

日本の文化財保存修理の技術は世界から注目されており、諸外国の美術館、博物館の関係者がその技術を体験し学ぶために日本を訪れています。脆弱な素材からなる作品を、季節により扱い方を変え、こまめに手を入れながら保存していく姿勢には、自然に敬意を払いこれと共存しようという日本人の態度が端的にうかがえます。本事業では日本各地で開催される、保存修理の成果公開を取りまとめ一本化し、展示キャプションや解説パネル等における多言語対応とあわせて海外プロモーションを図ることで、各地域における作品をアピールし、訪日観光客の地方誘致も試みます。

さらに、今回、高蔵寺と熊本博物館の展示において、地震で被災し、近年修理が完了した作品の展示も予定しており、文化財修理・保全という観点から被災地復興に資する内容を含むことを計画しています。



聖徳太子像 重要文化財
絹本着色 鎌倉時代 香雪美術館



聖徳太子絵伝 絹本着色
鎌倉～南北朝時代 香雪美術館



重要文化財《木造東陵永瑠禪師倚像》
(所蔵:雲巖禅寺、管理団体:熊本市)



石燈籠図屏風 伊藤若冲筆(京都国立博物館)左隻



石燈籠図屏風 伊藤若冲筆(京都国立博物館)右隻



修理作業風景(宮城 高蔵寺)

＜京都国立博物館＞

●文化財保存修理所開所 40 周年記念 特別企画「文化財修理の最先端」
開催期間: 令和 2 年 12 月 19 日～令和 3 年 1 月 31 日(予定)

＜宮城県角田市 高蔵寺＞

●高蔵寺木造阿弥陀如来坐像修理完成記念公開事業
開催期間: 調整中

＜大阪府 中之島香雪美術館＞

●聖徳太子 —時空をつなぐものがたり—

聖徳太子孝養像・聖徳太子絵伝修理完成記念 特別展
開催期間: 令和 2 年 10 月 31 日～12 月 13 日

＜熊本博物館＞

●重要文化財 木造東陵永瑠禪師倚像の保存修理完成記念展示
《ひとのすがた、いのりのかたち—肖像彫刻の世界—》
開催期間: 令和 2 年 12 月 5 日～令和 3 年 1 月 24 日(予定)

企画展「読み継がれた源氏物語」

＜愛知県 名古屋市蓬左文庫 展示室＞令和2年11月8日(日)～12月13日(日)

<http://housa.city.nagoya.jp/>

『源氏物語』は、現代に至るまで千年にわたり読み継がれてきた古典の名作です。幾度となく書き写され、絵画や能楽、香道といった日本文化にも多大な影響を与えました。とりわけ江戸時代には、読者層が一気に広がり、『源氏物語』を源泉として実に豊潤な世界が創り出されました。

五島美術館所蔵の国宝「紫式部日記絵巻」を特別公開するとともに、日本が世界に誇る『源氏物語』の文化史をたどり、その魅力を紐解きます。



重要文化財 源氏物語 河内本（名古屋市蓬左文庫蔵）



源氏物語絵巻 桐壺（個人蔵）

【特別展】東山魁夷と四季の日本画

＜山種美術館（東京都）＞令和2年11月21日(土)～令和3年1月24日(日)

<http://www.yamatane-museum.jp/index.html>

日本や世界各地の風景を詩情豊かに描き出し、昭和の国民的画家と謳われた東山魁夷(1908-1999)。近年も大規模な回顧展が続き、平成から令和の世へと移り変わる中、魁夷の芸術は人々の心を惹きつけ続けています。このたび、山種美術館では、魁夷作品の重要なキーワードである「四季」と「自然美」をテーマに、魁夷および師や仲間たちの作品を展示する展覧会を開催いたします。

本展では、魁夷ならではの風景画の魅力にせまるとともに、魁夷の師・結城素明、東京美術学校の同窓生である山田申吾や加藤栄三、皇居宮殿の装飾をともし手がけた山口蓬春や杉山寧らを中心に、四季を揃えた作品や、春夏秋冬折々の自然美を豊かに表現した日本画の優品をあわせて展示いたします。



東山魁夷《白い嶺》1964(昭和 39) 年紙本・彩色
山種美術館



東山魁夷《秋彩》1986(昭和 61) 年紙本・彩色
山種美術館
(京都市右京区、小倉山付近)

企画展「桃山―天下人の 100 年」

＜東京国立博物館 平成館＞令和2年10月6日(火)～11月29日(日)

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/momoyama2020/>

政治史における安土桃山時代は、1573 年の室町幕府の滅亡から 1603 年の江戸幕府開府までの 30 年間にさします。この 30 年間に花開いた、日本美術史上もっとも豪壮で華麗な「桃山美術」を中心に、室町時代末から江戸時代初期にかけて移り変わる日本人の美意識を数々の名品によってご紹介します。

本展は、室町時代末から江戸時代初期にかけての激動の時代に生まれた美術を概観し、美術史上「桃山時代」として語られるその美術の特質を、約 230 件の優品によってご覧いただくというものです。

激動の時代に、「日本人」がどう生き、どのように文化が形作られていったのか、約 100 年間の美術作品を一堂に集め概観することで、日本美術史のなかでも特筆される変革の時代の「心と形」を考える展覧会です。



国宝 花下遊楽図屏風 狩野長信筆（東京国立博物館所蔵）

(左隻)

国宝 楓図襖 長谷川等伯筆（智積院所蔵）

(右隻)



＜日本の「衣食住」を通観し、自然と対話する＞

特別展「きもの KIMONO」

＜東京国立博物館 平成館＞令和2年6月30日(火)～8月23日(日) 会期終了

<https://kimonoten2020.exhibit.jp/index.html>

日本を代表する衣服として着用され続けてきた「きもの」に注目し、鎌倉時代から現代に至るまでの変遷をたどり、自然から生まれた色・模様・形といった形態を通して、四季と自然をいとおしんできた日本人の生活文化を紹介。

歴史的・美術的な文化財を全国から借用して日英中韓4言語での解説と共に展示したほか、海外で高く評価されるきもの価値を周知するための同時通訳を活用して行う国際シンポジウムなどを通して、自然とともに生きた日本の伝統文化の素晴らしさを知る機会とします。

歴史的・美術的な文化財を集結し展示するとともに、映像コンテンツを制作・発信し、若年層を対象とした多彩な作品を通して、日本の伝統文化の素晴らしさを知る機会を提供します。



特別展「きもの KIMONO」ギャラリートーク



(映像 URL) <https://kimonoten2020.exhibit.jp/special3.html>

人間国宝 森口邦彦 友禅／デザイン 交差する自由へのまなざし

＜京都国立近代美術館＞ 令和2年10月13日(火)～12月6日(日)

本展は、「友禅」の人間国宝・森口邦彦の大回顧展であり、「日本人と自然」を意匠(デザイン)と形式(着物)の両面から紹介するものです。自然と共存、共生する中で築き上げられてきた友禅の世界観にあって、森口の仕事は、幾何学を出発点に空間に自然の旋律を響かせていくものです。デザインと友禅、伝統と現代、東洋と西洋など、様々な要素を関連付けつつ自在に展開する森口の友禅世界をお楽しみください。



森口邦彦《友禅着物「雪明り」》1969
京都国立近代美術館



森口邦彦《友禅着物 白地位相割付文「実り」》
2013 三越伊勢丹ホールディングス



森口邦彦《友禅着物 緋稜文》2000

特別展「ファッション イン ジャパン 1945 - 2020 - 流行と社会」

＜島根県立石見美術館＞会期調整中

<http://www.grandtoit.jp/museum/fij2020/>

＜国立新美術館＞会期調整中

<https://www.nact.jp/english/exhibitions/2020/fij2020/>

第二次世界大戦後から現在までを中心に、日本人の装いの文化を改めて紹介する展覧会です。衣服を作り提供する者、着用し消費する者、その両方をつなぐメディア、この三者がからみあいながら展開した創造的ありようを、時代を追いながら社会的背景もふくめて考察します。また、島根会場では麻や藤、芭蕉など綿が登場する以前に庶民の衣服の素材であった自然素材を、現代の視点で見直す特別関連展示も実施します。詳しくは、HP でご確認ください。



https://www.nact.jp/exhibition_special/2020/fij2020/https://fij2020.jp/

森英恵《ホステス・ガウン「菊のバジャマ・ドレス」》

1966 年、島根県立石見美術館蔵

隈研吾展

＜高知県立美術館＞令和2年11月3日(火)～令和3年1月3日(日)

https://moak.jp/event/exhibitions/post_361.html

＜長崎県美術館＞令和3年1月22日(金)～3月28日(日)

<http://www.nagasaki-museum.jp/exhibition/archives/1522>

＜東京国立近代美術館＞令和3年6月～9月に延期(予定)

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる《国立競技場》の設計に参画するなど、現代日本を代表する建築家のひとり、隈研吾(1954-)の大規模な展覧会です。2018 年に開館した《V&A ダンディー》(スコットランド)が米 TIME 誌の「2019 年世界で最も素晴らしい場所 100」に選ばれたことに象徴されるように、彼の建築は、人が集まる場所として、世界中の人々を魅了しています。

本展はそんな隈の建築の紹介を通して、「アジアの自然や環境を通して育まれてきた美意識」に対する理解を深めることを目的としています。高解像度映像などの最先端技術を、瀧本幹也などアーティストの協力の下、最大限に活用。また「猫の視点から見た街」という観点に基づくインスタレーション(協働: Takram)を通じて共生社会への関心を高めるとともに、インタビュー映像により被災地の今を紹介します。



隈研吾《V&A Dundee》2018 ©Hufton+Crow



隈研吾《アオーレ長岡》2012 ©Mitsumasa Fujitsuka

「日本のたてもの一自然素材を活かす伝統の技と知恵―」

＜東京国立博物館 表慶館・国立科学博物館・国立近現代建築資料館＞令和2年12月8日(火)～令和3年2月21日(日)
(予定)

木材・土・石など多様な自然素材を優れた造形物に発展させてきた日本の建築を主題とし、その要素を高い加工技術で凝縮した「建築模型」に焦点を当て、飛鳥時代から現代までの代表的な名建築を、通史的に概観できる展覧会です。建物の細部や素材の特性を精巧に再現した学術模型を展示するほか、木造建築における技術の解説、建築鑑賞ツアーなどを行い、訪日外国人が日本の建築文化を楽しみながら理解していただけることを目指します。

また、2018年にユネスコ無形文化遺産へ提案された、「伝統建築 工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」に関する解説パネルを設置し、伝承者養成・技能錬磨・原材料や用具の確保など、近年の取組についても紹介します。



東大寺鐘楼(国宝／鎌倉時代)東京国立博物館所蔵



永保寺開山堂(国宝／室町時代)国所蔵



親寛院客殿(国宝／江戸時代)国所蔵



日本橋高島屋(昭和8年)株式会社高島屋所蔵



三井銀行京都支店(大正3年)一般社団法人日本建築学会所蔵



旧帝国ホテルライト館(大正12年)株式会社帝国ホテル所蔵

＜自然にちなんだ伝統芸能、自然との関わりを描いた現代舞台を観る＞

Discover NOH & KYOGEN 柿山伏・紅葉狩

＜国立能楽堂（東京都）＞ 令和2年10月31日（土）

<https://www.ntjjac.go.jp/schedule/nou/2020/10163.html?lan=j>

「外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN」は伝統的な舞台芸術である能と狂言を、英語による解説とともに上演するものです。今回は狂言「柿山伏」・能「紅葉狩」を上演します。能・狂言を初めて鑑賞するのにふさわしい作品を選択、多言語化されたパンフレットや字幕による解説を用意することで、短時間で効果的に能・狂言の魅力を伝えることのできる内容となっています。

【狂言】 柿山伏（かきやまぶし）： 大藏 教義（大蔵流）

【能】 紅葉狩（もみじがり） 鬼揃（おにぞろえ）： 梅若 紀彰（観世流）



Discover 伝統芸能

－ 歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊・寄席・雅楽で「おもてなし」－

＜国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・伝統芸能情報館（東京都）＞ 令和2年8月～令和3年3月

我が国が世界に誇る歌舞伎、文楽、落語、日本舞踊などの多種多様な伝統芸能公演で「おもてなし」します。我が国の伝統芸能は常に自然とともにあり、伝統芸能の鑑賞によって古来日本人が大切にしてきた自然を愛する心を直接・間接に感じることができます。

新型コロナウイルス感染症対策のため、実施が出来なくなった外国人向けの歌舞伎公演に替えて、英語字幕付きで初心者向けの歌舞伎入門動画コンテンツを制作し、国内外に発信しています。

歌舞伎入門動画コンテンツ「松本幸四郎の歌舞伎を知ろう」



仁木正正（松本幸四郎）



- 配信期間：2020年8月27日（木）10:00～9月26日（土）22:00（第1回）
- ※第1回配信後、完成次第、第2回、第3回を配信予定
- ※8月27日から順次配信している1～3回の動画（日本語）の後、英語字幕付きの短編を別途制作。
- 第1回：「歌舞伎役者は神出鬼没」～舞台と大道具～
- 第2回：「映（ば）える歌舞伎役者」～化粧・かつら・衣裳～
- 第3回：「歌舞伎の生物多様性」～動物・物の怪・霊獣～
- 料金：1,800円（各回・税込）

Discover BUNRAKU／大人のための文楽入門など

＜国立劇場（東京都）＞令和2年9月5日（土）～22日（火・祝）、12月14日（月）

https://www.ntj.jac.go.jp/kokuritsu/2020/bunraku_9.html

人形浄瑠璃文楽は日本の自然を背景とした物語や生活様式が多く作品で登場し、独自性を有する舞台芸術の一つです。

9月及び12月国立劇場における「Discover BUNRAKU」は、「解説 文楽をはじめよう」を含めた特別なプログラムで、文楽をはじめてご覧になる方にも親しみやすく、気軽に楽しんでいただける公演となっています。

また、英語字幕付き映像を制作して国内外へ発信することを予定しています。



琉球王朝の美 ～組踊、その継承と発信～

＜国立劇場おきなわ＞令和2年10月6日（火）・13日（火）・20日（火）、10月31日（土）、11月21日（土）、12月12日（土）、令和3年3月13日（土）

<https://www.nt-okinawa.or.jp/>

組踊は、様々な芸能の影響を受けながら沖縄の自然観を元に育まれてきた、沖縄の伝統芸能を集約した総合芸術です。初めての方や外国人にも組踊の魅力が伝わるよう、オーディオガイドの無料貸出や、組踊の楽しみ方を第一部で紹介するなどの工夫を凝らした公演を実施します。

さらに、首里城の歴史と環境から琉球芸能について考える連続講座を実施し、首里城で鑑賞されていた琉球国独自のからくり仕掛け花火を復元し披露します。



Discover KUMIODORI「二童敵討」



組踊鑑賞教室「執心鐘入」

「日本博」 皇居外苑特別公演（仮称）

＜皇居外苑特設会場（東京都）＞ 令和3年3月中旬（予定）3日間

日本博のテーマ「日本人と自然」に沿って、皇居外苑の特性を踏まえた利活用の取組として、江戸時代の江戸城における能・狂言の歴史を踏まえ、能楽の再現舞台を中心に伝統芸能の舞台を初めて皇居外苑で実施します。

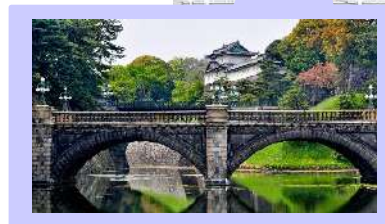
東日本大震災から10年を迎えること、さらに新型コロナウイルス感染症の終息祈願として、国土の平安を謡と舞によって祈念する能の「翁」をはじめ、被災地の芸能・琉球芸能（首里城復興祈願）など、皇居周辺の日本の「季節感」が感じられる、かつ初めて鑑賞する人々にとって分かりやすく、華やかでダイナミックな演目を上演します。

国内外に発信するための映像コンテンツを制作（テレビ又はWeb放映も検討）。

皇居外苑・東御苑内の「季節の花々」を散策して楽しむ人々が、より日本文化を深く楽しめるよう分かりやすく解説付きガイドを実施します。



「翁」観世清和



二重橋を背景にした野外特設舞台

神々の集う国「出雲」 体験フェスタ ～日本博 in 出雲～

＜出雲大社ほか（島根県）＞ 令和2年9月19日（土）～22日（火・祝）（予定）、11月～令和3年3月頃

<https://ancient-japan-izumo.com/>

太古から受け継がれてきた神々の集う国「出雲」の豊かな自然・歴史・文化を重層的に体感いただくプロジェクト。「日本遺産」日が沈む聖地出雲の夕日を背景に舞う「出雲神楽」の連続野外公演やワークショップ、「日本酒」発祥の地・出雲の地酒まつりを楽しんでいただけるほか、門前まちあるきの新たな楽しみとして、「出雲大社」の古代高層神殿の荘厳な姿をVR／AR技術で復元しスマホアプリで配信します。



古代出雲大社高層神殿
（古代出雲歴史博物館展示 1/10 模型）



日本酒発祥の地 出雲の地酒



出雲神楽
（大土地神楽保存会神楽方「夕刻篝火舞」稲佐の浜）

ユネスコ無形文化遺産

特別展「体感！日本の伝統芸能—歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—」

＜東京国立博物館 表慶館＞ 中止・延期

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/dentou2020/>

本展は、ユネスコ無形文化遺産にも記載された、日本を代表する5つの伝統芸能—歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界を、舞台の上から舞台裏まで、まるごと体感していただける体験型展覧会で、展示室では各芸能の舞台を再現し、公演で使用する衣裳、楽器、小道具などを展示しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため会場である東京国立博物館が臨時休館となったため、開催中止となりました。

なお、開催に向けて展示の準備を進められていた会場内の様子を撮影し、VR 映像を公開いたしました。歌舞伎の舞台に立ったり、華やかな衣装を眺めたり、まるで会場内を実際に歩いているような気分で、360 度ぐらりと鑑賞できます。

《おうちで体感！ 日本の伝統芸能 動画》



メインビジュアル



《おうちで体感！ 日本の伝統芸能 VR》



子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ「Super Angels スーパーエンジェル」

＜新国立劇場（東京都）＞ 中止・延期

新国立劇場が、日本の魅力を世界へ発信する絶好の機会としてお届けする特別企画。「科学技術」「共生」というテーマを織り込んだ新しい舞台作品を通じ、舞台芸術の可能性を広く世に問い、その魅力を国内外にアピールすべく、“子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ”を上演します。

新国立劇場オペラ芸術監督の大野和士が企画し、台本を作家の島田雅彦に、作曲を初音ミクのボーカロイドオペラ『THE END』やアンドロイド・オペラ『Scary Beauty』を手掛ける音楽家・渋谷慶一郎に委嘱。指揮は大野、演出は新国立劇場演劇芸術監督の小川絵梨子が務め、オペラの枠を超えたスケールのコラボレーションを行います。

この新作オペラ『Super Angels スーパーエンジェル』には人工生命搭載アンドロイド「オルタ3」が物語の核となる役で出演し、もう一方の核となる子供たちによる合唱と相互に関わり合いながら歌い、演じて、アンドロイドと子どもたちの交流のドラマを紡ぎます。子どもたちと共に、オペラ歌手と新国立劇場合唱団も出演。管弦楽は東京フィルハーモニー交響楽団が務めます。さらに、新国立劇場バレエ団も参加し、新国立劇場始まって以来のオペラ、舞踊、演劇全ジャンルのコラボレーションが実現します。

未来への共生のメッセージが込められた全く新しいオペラの誕生の瞬間に、どうぞご期待ください。

企画監修・指揮：大野和士

台本：島田雅彦

作曲：渋谷慶一郎

演出：小川絵梨子

総合舞台美術（装置・衣裳・照明・映像監督）：針生 康

映像：ウィアードコア

振付：貝川鐵夫

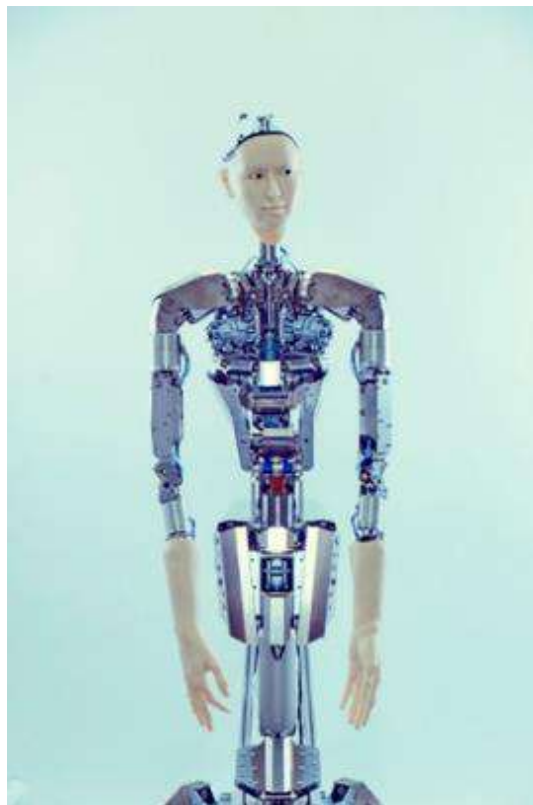
舞踊監修：大原永子

出演：オルタ3、藤木大地、三宅理恵 他

合唱：新国立劇場合唱団

ダンサー：新国立劇場バレエ団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団



オルタ3 (Supported by mixi, inc.)

「オルタ」シリーズ共同研究：石黒浩、小川浩平、池上高志、土井樹

オルタ3ソフトウェア設計・開発：升森敦士、丸山典宏、株式会社オルタナティブ・マシン

オルタ3シミュレーター開発：株式会社ミクシィ、オルタ3提供：株式会社ミクシィ

統括プロデューサー：木村弘毅（株式会社ミクシィ）、特別協力：東京大学、大阪大学、株式会社ミクシィ、株式会社ワーナーミュージック・ジャパン、株式会社オルタナティブ・マシン

日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト

＜神奈川県伊勢原市 大山阿夫利神社＞令和2年9月15日(火)

＜山形県鶴岡市＞令和3年1月頃

＜鹿児島県薩摩川内市＞令和2年11月頃

＜岐阜県高山市＞令和3年2月頃

文化継承や地域活性の観点からさらなる活用が望まれる「日本遺産」と、代表的な日本文化として発信力・訴求力の磨き上げが期待される「伝統芸能」に焦点を当て、全国4か所の日本遺産構成文化財(神社仏閣等)を中心に、歴史文化と芸能の魅力を味わえる映像企画を行います。「人から人へ伝える」「無形文化の生き生きとした体験」をコンセプトとし、多彩な文化資源を総合的に活用しながら、各地の実情に即した企画・実施を試みます。



神奈川県伊勢原市・大山阿夫利神社



岐阜県高山市・日本舞踊、長唄と地域の祭囃子の共演



鹿児島県薩摩川内市・旧増田家住宅



山形県鶴岡市・松例祭

寄席「笑楽座」2020

＜宮城県 仙台東照宮、福島県いわき市 金刀比羅神社、兵庫県豊岡市 温泉寺薬師堂、浅草東洋館（東京都）、東京タワー 展望台 Club333、東京都江戸東京博物館 大ホール＞令和2年7月～令和3年3月

<https://www.geikyo.com/>

日本各地土地ごとの気候や風土、自然、四季折々の情景や行事が織り込まれている寄席芸能から、落語・太神楽曲芸・紙切り・和妻・音曲などを組み合わせ、日本人の心に刻まれた「笑い」の文化を楽しんでもらいます。落語ではインバウンド対応に有効な『イラスト字幕システム』を用いるなど、国籍・言語・年齢・障害といった様々なバリアを超えて老若男女あらゆる人に寄席芸能の魅力を届けます。東北（青森・宮城・福島）や中四国（兵庫・香川）といった地方開催地の文化的資源（城、神社仏閣等）、浅草や東京タワーなどの観光スポットでそれぞれの地域性や客層に対応しながら、笑いとおどろきあふれる公演となっています。詳しくは、HP でご確認ください。

- ・笑楽座2020～仙台東照宮寄席～ ＜宮城県 仙台東照宮＞ 令和2年9月19日
- ・笑楽座2020～金刀比羅神社寄席～ ＜福島県いわき市 金刀比羅神社＞ 令和2年10月3日
- ・笑楽座2020～温泉寺薬師堂寄席～ ＜兵庫県豊岡市 温泉寺薬師堂＞ 令和2年9月27日
- ・浅草東洋館笑楽座 ＜浅草東洋館＞ 令和3年3月予定
- ・東京タワー笑楽座 ＜東京タワー 展望台 Club333＞ 令和2年9月26日、令和3年3月23日までの間の複数日開催
- ・えどはく笑楽座 ＜東京都江戸東京博物館 大ホール＞ ～令和3年1月24日までの間の複数日開催



＜自然の中で文化を味わう＞

企画展「国立公園 ―その自然には物語がある―」

企画展「国立公園 ―その自然には物語がある―」 連携事業

＜国立科学博物館 地球館特別展示室（東京都） ほか＞ 令和2年8月25日（火）～11月29日（日）

<https://www.kahaku.go.jp/event/2020/08nationalpark/>

日本のすぐれた自然を守り、後世に伝えていくために、国が指定し、保護管理している「国立公園」。現在、日本には34の国立公園が存在し、そこでは日本の自然を象徴する風景や環境、生物が多く見られます。南北に長く、森や川、海と、豊かな表情を見せる日本列島の自然は、どのように形作られ、どのような生き物を育んできたのでしょうか。国立科学博物館と環境省は、四季折々に変化する日本の多様な自然と、そこに暮らしてきた日本人の文化について、国立公園を切り口に紹介する企画展を開催します。

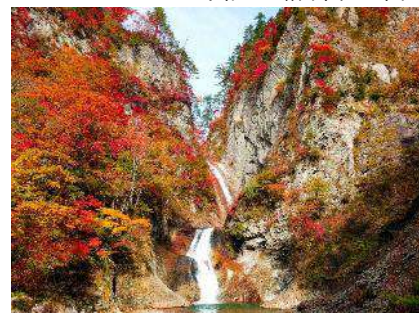
国立公園から日本の自然が見えてくる

国立公園には日本の自然を象徴する景観や生物多様性が残されています。国立科学博物館会場では「大地」「水」「命」の3つのテーマで、動物や植物、岩石・鉱物といった国立科学博物館が所蔵する200点以上の自然史標本、そして全34公園の高精細空撮映像によりその姿に迫ります。あわせて自然に寄り添い生きてきた「人」の暮らしについても紹介します。



中部山岳国立公園

十和田八幡平国立公園



国立公園を絵画で楽しむ

旅行やカラー写真が一般的でなかった当時、国立公園候補地の景観が描かれた絵画は、その指定に重要な役割を果たしました。小杉放菴記念日光美術館が所蔵する国立公園絵画のうち12点を展示します。キャンバスに描かれた日本の自然も本展の見どころです。



大野隆徳「奥入瀬溪流の秋」（所蔵：小杉放菴記念日光美術館）

また、株式会社日本国際放送は、環境省が推進する「国立公園満喫プロジェクト」と連携し、8K体験キャラバンカーによる巡回プロモーションやテレビ番組の制作・放映を通じて、同企画展及び全国の国立公園への誘客を図ります。



NHK ワールド JAPAN『At One with Nature: National Parks of Japan』
（阿寒摩周国立公園特集）



キャラバンカー実施の様子

「神宮の杜芸術祝祭」 祭る。祈る。創る。—持続可能な自然 と芸術文化—

＜明治神宮（東京都）＞令和2年3月～令和3年3月

- ・美術展『神宮の杜 野外彫刻展「天空海闊(てんくうかいかつ)」』＜明治神宮 内宮＞ 令和2年3月20日(金)～12月13日(日)
- ・美術展『「紫幹翠葉(しかんすいよう)―百年の杜のアート」』＜明治神宮ミュージアム＞ 令和2年7月10日(金)～9月27日(日)
- ・美術展『「気韻生動(きいんせいどう)」―平櫛田中から名和晃平まで―』＜明治神宮 宝物殿＞ 調整中

<https://jingu-artfest.jp/>

2020年に創建100年を迎える明治神宮。「神宮の杜芸術祝祭」は、明治神宮のシンボルであり、鎮守の杜でもある「明治神宮の杜」を舞台とした芸術と文化の祭典です。神宮の杜で繰り広げられる様々な展覧会やプログラムを通し、日本における「自然」と「文化・芸術」のつながりを再認識し、日本の美意識の再発見と海外発信を目指します。次の100年に向けたサステナブルな神宮の杜のあり方を発信すると共に、被災地振興や地域創生のイベントを通して、祈りの心を世界に発信します。



名和晃平《White Deer (Meiji Jingu)》2020
ブロンズに塗装 Photo: Keizo Kioku



松山智一《Wheels of Fortune》2020
ステンレス Photo: Keizo Kioku



「紫幹翠葉―百年の杜のアート」展示作品(※一部抜粋)



船井美佐《Paradise/Boundary -SINME-》
2020 ステンレス 撮影:木奥恵三



「紫幹翠葉―百年の杜のアート」展示風景

日本書紀・藤原不比等を巡る奈良県博覧プロジェクト

＜奈良県コンベンションセンターほか＞ 令和2年5月～令和3年3月

<http://www.pref.nara.jp/55769.htm>

2020年は、古代日本の形成を物語る日本書紀完成1300年、日本国の成立に大きな足跡を残した藤原不比等没1300年にあたり、東京オリンピック・パラリンピック開催により改めて日本に世界中から注目が集まるこの機会を捉え、国の成立を現地で向き合い、奈良県、日本の歴史の奥深さを国内外に発信する博覧プロジェクトを実施します。詳しくは、奈良県日本博 HP でご確認ください。



建造物修理現場公開イメージ



発掘調査現場公開イメージ

国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ 2020“森羅万象～COSMIC DANCE”

＜滋賀県近江八幡市・彦根市 ほか＞ 令和2年10月10日(土)～11月23日(月・祝)

<https://energyfield.org/biwakobiennale/>

滋賀県彦根市及び近江八幡市の市街地にてその地に残る歴史的建造物を会場とし海外作家を含む約60名の作家の作品を展示します。彦根市においては、国宝彦根城の庭や櫓、元銭湯、日本建築の礼拝堂など、また近江八幡市では、主に空き家となっている江戸、明治期の商家や元造り酒屋など、それぞれ、土地の特徴を色濃く残す建物において空間そのものを作品化していきます。詳しくは、BIWAKO ビエンナーレ 2020HP でご確認ください。



トーマス・フォイエルスタイン
「PSYCHOPROSA」



circle side
「35° 8' 27.4"N 136° 5' 30.4"E」



江頭誠
「ブランケットが薔薇でいっぱい皿」

「大地の芸術祭の里」ブランディング強化による海外インバウンド拡充事業

＜新潟県十日町市＞令和2年4月1日～令和3年3月31日

<https://www.echigo-tsumari.jp/>

2000年から3年に1度開催している、屋外では世界最大級の国際芸術祭「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」。本事業では、十日町市がこれまで培った文化芸術資源の「現代アート」と豪雪が育んだ

「雪国文化」を最大限に活用し、大地の芸術祭を国際的な文化フェスティバルとして磨き上げを行います。コロナ禍の社会において今一度、地域の資源を見つめ直し、国内外に誇る日本特有の里山文化としてその魅力を発信する事業を展開します。

地域住民と作家・サポーターなど、地域や世代を越えた人々の協働による作品づくりをコンテンツとした四季プログラムおよび通年ツアーの実施、これまで育んできたネットワークを駆使した他分野連携による食文化や里山保全の仕組みの構築など、国内外に広まった関係人口の深化による文化芸術事業の発展・充実に図ります。



越後妻有 雪花火

Photo by YANAGI Ayumi



清津峡溪谷トンネル

アース・セレブレーションを核とした佐渡の国際的フェスティバル展開事業

＜新潟県佐渡市＞令和2年4月1日～令和3年3月31日

<https://earthcelebration.jp/>

島の豊かな自然の中で多様な文化を交錯させ、新しい地球文化を創造しようと1988年から毎年開催している佐渡での国際野外フェスティバル「アース・セレブレーション」。本事業では、国内でも歴史ある野外フェスティバルが核となり「さどの島銀河芸術祭」をはじめとする佐渡固有の文化活用事業が「響く島。SADO」をスローガンに連携し一体となり全島を舞台にした長期の国際的フェスティバルへと展開します。

コロナ禍で行動制限のかかるなか「佐渡から、ひとつの地球へ」をテーマに、1日7時間×3日間のオンライン生配信を行うほか、島の歴史文化と現代アートの融合企画展示、佐渡出身のトップヘアメイクアーティストによる歴史ある寺社でのヘア・ファッションショー、聞こえる人も、聞こえない人も一緒に楽しめる手話狂言「佐渡狐」公演やアールブリュット展など、島の自然、歴史、文化を活用した文化芸術・共生社会促進事業を開催し、日本最大の離島「佐渡島」の魅力発信とコンテンツの充実を図り、地方への誘客を促進します。



アース・セレブレーション 2020(生配信ライブ)



佐渡金銀山遺跡「北沢浮遊選鉱場」
(ライトアップ+メッセージ投影+ライブ配信)



さどの島銀河芸術祭(舟小屋 展示)

＜メディア芸術に描かれる自然に向き合う＞

MANGA 都市 TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮 2020

＜国立新美術館・企画展示室 2E(東京都)＞令和2年8月12日(水)～11月3日(火・祝)

＜大分県立美術館・1階 展示室 A＞令和2年11月21日(土)～令和3年1月17日(日)

<https://manga-toshi-tokyo.jp/>

日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品は、都市〈東京〉の特徴や変化を、鏡のように映しだしてきました。本展は、そのさまざまな描写を、多数の原画や模型、映像などでたどります。現実の都市の特徴がいかにフィクションに影響を与えてきたのか。またそれらフィクションやそのキャラクターが、現実の都市にいかなるイメージを重層的に付与し、作用をおよぼしてきたのか。本展は、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示であると同時に、そこに映し出され、さらには人々の記憶の中で重ね合わされた、〈東京〉を展示します。「聖地巡礼」など、アニメやゲームが観光資源として注目される中、その意味や可能性に光を当てます。



©MANGA ⇄ TOKYO Japonismes 2018

イラストレーション: 吉成曜

©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

©カラー ©Naoko Takeuchi ©武内直子・PNP・東映アニメーション ©秋本治・アトリエぴーだま／集英社

©創通・サンライズ TM & © TOHO CO., LTD. ©TOKYO TOWER

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2020

＜長野県阿智村、東京都内＞令和2年8月、令和2年9月下旬～

<https://www.shortshorts.org/2020/>

今年で22年目を迎える米国アカデミー賞公認 国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」はショートフィルム(短編映画、映像)という性質を生かし、重要な「メッセージを運ぶツール」として注目を集めています。世界の美的感覚から日本古来よりある「侘び寂び」や「粋」に代表される日本人特有の美的感覚を探る企画を実施いたします。また、長野県阿智村で開催される SSFF & ASIA 2020 in ACHI では、「日本の美」を含む「世界の美」をテーマにしたショートフィルムプログラムの作品上映も行いイベントのウェブサイトは日本語・英語で表記を行う予定です。オンラインでも一部上映を行い、来場できなくとも楽しめるコンテンツとして提供します。



セレモニーの様子



ショートショート フィルム
フェスティバル&アジア in ACHI
日本博特別プログラム上映作品例
「Future is MINE - アイヌ、私の声 -」
監督: 富田 大智

ショートショート
フィルムフェスティバル & アジア 2020 チラシ

ピクチャレスク・ジャパン 世界が見た明治・大正の日本（仮称）

＜国立映画アーカイブ（東京都）ほか＞令和2年10月～

英国映画協会が所蔵する貴重なコレクションから、訪日外国人が明治・大正期の日本を撮影して海外に伝えた無声映画を生演奏と講演を付してまとめて紹介。

当時の東京、大阪、京都、奈良、横浜などの名所や祭礼、生活風景など外国人の心をとらえた「絵葉書のような」日本の美とともに、失われた原風景や文化をスクリーンに甦らせ、映像の重要性和各地への関心を喚起します。



A Travers les Temples
de Kyoto(1912)
塩竈神社



Shooting the Rapids on
the River Ozu in Japan
保津川下り

NAKED SAMURAI & NINJA 観光ガイドプロジェクト（仮称）

＜リアル：元離宮二条城（京都府）、オンライン＞ 令和2年10月15日～12月17日（仮）

<https://event.naked.works/nijojo-summer2020/>

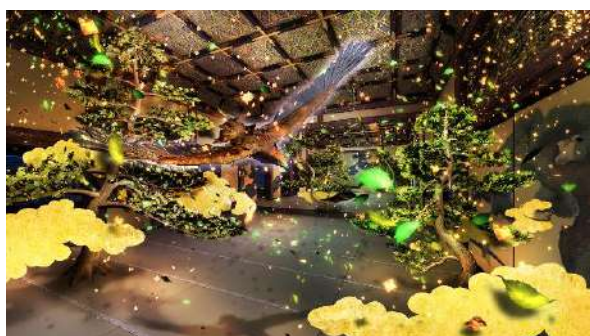
新生活様式の新しい観光の楽しみ方は場所に足を運ぶだけではなく、世界中どこからでもその場所にアクセスでき、楽しみ、価値を届けることができるものだと考えます。オンラインとリアル空間の両方を活用する新しいイベントモデルをもって、今は実際に足を運べない方にも日本の魅力を届け、「いつか行ってみたい」の醸成を目指します。今秋に世界遺産二条城で実装します。二条城の歴史を紐解く楽しく学ぶコンテンツをリアルとオンラインの両方で提供します。リアルは自身が「侍」の目線となり城を守り、オンラインは「忍者」の目線となり城の情報を探す、リアルとオンラインがクロスする体験で、オンラインは海外からも購入できる仕組みとします。侍と忍者という日本を代表する人気コンテンツで入口を広く設計し、歴史的価値のある魅力を国内外の方々に発信し続けるための施策を行います。

＜VRコンテンツ＞



VRゴーグル

＜ライトアップ、AR演出など＞



©2020 naked inc.

＜共生社会・多文化共生と自然＞

ウテカンパ フェスティバル ～未来に向かって、手をつなごう～

＜北海道 札幌周辺＞ 令和2年11月頃

イランカラッテ！

<https://ainu-upopoy.jp/>

令和2年、「ウテカンパ フェスティバル ～未来に向かって、手をつなごう～」を開催します。「ウテカンパ」はアイヌ語で「手をつなぐ」という意味です。「ウポポイ(民族共生象徴空間)」(令和2年7月オープン)及び札幌周辺において、アイヌと多様な人々が手を取り合い、新たな創造活動を通じて、アイヌ文化を国内外に発信することにより、多文化共生社会と持続的な社会の発展を目指します。



日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル

＜近江八幡市 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA ほか＞ 令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)

令和2年度開催ブロック(九州:長崎県長崎市、東海・北陸:新潟県上越市、

中国・四国:鳥取県倉吉市、北海道:岩見沢市)

<https://artbrut-creation-nippon.jp/>

「日本人と自然」を障害者の視点を通じて国内外に発信する、文化芸術フェスティバルです。障害者の芸術表現、そして障害者が自身の特性とともに生きる様には、日本人が縄文時代から持つ、四季折々の天然の色彩、音の風情を慈しむ心が強くにじみ出ています。本フェスティバルは、令和2年から2か年かけて全国7箇所で開催予定です。また、本フェスティバルの様子は、WEB サイトでも国内外に発信します。詳しくは、HP でご確認ください。

アール・ブリュット
ー日本人と自然ー 展の様子



戸舎清志《街と車のある風景》1994年頃 撮影:大西暢夫



木村佑介《仏像》2001年



石見神楽(いわみ福祉会芸能クラブ)

障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト

DANCE DRAMA「Breakthrough Journey」

＜大阪府 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)＞ 令和3年1月30日(土)、31日(日)

<https://www.big-i.jp/>

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)の完全バリアフリーの環境と誰もが文化芸術活動を享受できるノウハウ、障害者の国際交流ネットワークを最大限に活用し、誰もが文化芸術を享受できる環境(「人」「ノウハウ」「技術」「場づくり」)の創出と開発整備の推進をプロジェクトを通じて実現します。日本・アジアで活躍する振付家、プロのダンサーと障害のあるダンサーが協働し、わが国の自然や伝統文化等をベースにした魅力ある大型ダンスプロジェクトを実施することによって誘客力のある障害者の国際文化芸術拠点形成と共生社会の実現へとつなげます。詳しくは、HP でご確認ください。



DANCE DRAMA プロモーション写真 01



Photo by Ryohei Tomita

Courtesy of The Nippon Foundation DIVERSITY IN THE ARTS

DANCE DRAMA プロモーション写真 07

